

やまなみ



比田交流センター便り
R4・4月発行 第74号

安来市広瀬町西比田 1708-4

TEL (Fax) 34-0001

E-mail: hida-s@city.yasugi.shimane.jp

人権標語コンクール

主催:比田地区人権をまもる会



新聞は太い線の中につくましよう。文字は見やすいように、ハッキリとした線で書きましょう。

第10回しまね小中学生新聞コンクール

神様が選ぶほどの町比田

えーひだ新聞

この新聞は、地域の現状や問題、そして未来への希望を伝えるために発行されています。読者のみなさんに、自分たちの町を誇りに思ってもらいたいと思います。

目次

- 1頁 神様が選ぶほどの町比田
- 2頁 職場体験学習
- 3頁 仕事内容
- 4頁 私か思うこととえーひだ

仕事内容

1日目	2日目
9:30 2日間の説明 お茶会 25分	9:00 持ち出し
11:00 お米箱詰め	12:00 休憩
12:00 休憩	13:00 PoP作り お米箱詰め
13:00 持ち出し	14:00 職場体験終了
15:00 終了	15:00 終了

私か思うこととえーひだ

えーひだ新聞は、地域の現状や問題、そして未来への希望を伝えるために発行されています。読者のみなさんに、自分たちの町を誇りに思ってもらいたいと思います。

仕事についての質問

Q. 仕事のやりがいは何ですか?
A. 自分が地域の人の役に立っていると感じる時です。

Q. 仕事に関して大変なことはありますか?
A. 農業は忙しい時に、えーひだカンパニーの仕事をするのが大変、両立させるのが難しいです。

Q. 仕事を通して学んだことはありますか?
A. えーひだ市場でお客さんと接する機会が、とても勉強になりました。

受賞作品

優秀賞

比田っ子は えがおであいさつ じょうずだよ
どうしたの やさしく声かけ にっこりにこ
ありがとう 学校じゅうに 広げよう
ゆずり合い 心をこめて ありがとう
ありがとう その一言で 笑顔がたくさん
楽しいな だれかが笑うと 笑顔さく

佳作

比田っ子は あいさつ笑顔が 上手だな
家族から もらった命 大切に
あいさつを えがおですれば いい気分
ありがとう 君がくれた 言葉だよ
あいさつは 心を変える 言葉です
自分がいつも笑顔でいると 周りのみんなも笑顔になる

- | | | |
|----|----|-----|
| 六年 | 田邊 | みはな |
| 六年 | 荒川 | 大空 |
| 五年 | 上廻 | 梅衣 |
| 四年 | 加藤 | 琉雅 |
| 四年 | 大道 | 行信 |
| 三年 | 伊田 | 柑南 |
| 二年 | 上田 | 真聖 |
| 二年 | 持永 | 迦苗 |
| 三年 | 藤原 | 光希 |
| 四年 | 重栖 | 颯太 |
| 五年 | 石田 | 玲絢 |
| 一年 | 藤原 | 彩乃 |

上廻きららさん(広瀬中学校3年) 最優秀賞おめでとうございます 【山陰中央新報社・新聞コンクール】

広瀬中学校3年、上廻きららさんの作品が最優秀賞を受賞されました。

『比田』を題材にされた作品で、金屋子神社やえーひだカンパニー、地域づくりのことなどをわかりやすく、目をひく構成で作られています。

下記で掲載していますのでぜひご覧ください。
【金屋子神社・えーひだカンパニー・JA・郵便局
興南堂・梅林商会・比田交流センター・】

いきいき加工部さんありがとう

2004年に立ち上がった「いきいき比田の里加工部会」。当時は東比田小学校のランチルームを使っていたと言います。比田の豊富な食材を使って地産地消をと唄い、グループで力を合わせて、笹まきや加工品作りを行ってきました。特に笹まきやおもちは好評で全国各地から注文があると聞いています。そんな比田の特産品づくりに励む皆さんの姿は、地域全体に元気を与えてくれました。長年の間本当にお疲れ様でした、そしてありがとうございました。



比田地区小さな拠点づくりの取り組み

移動販売車の名称を募集しました

3月中旬に新聞折り込みのチラシなどで募集をしたところ、47件の応募がありました！
たくさんのご応募ありがとうございました。
名称の選考をし、決まりましたらお知らせします。

比田地域88ピジョン

「比田ぐるい移動販売車」



全日本年賀状大賞コンクール版画部門で表彰されました

奨励賞 藤原彩乃さん(比田小)
審査員特別賞 小林えいたさん(比田こども園)



ご寄付のお礼

香典返し

【比田交流センターへ】 藤原 和枝 様

【比田地区社会福祉協議会、比田交流センターへ】

加藤 克己 様

【比田地区社会福祉協議会へ】 鏃原 誠 様

ご寄付いただきありがとうございます。

退職のごあいさつ 比田交流センター主事 勝部 歩

このたび、3月31日をもって退職いたしました。
まずは、直接ご挨拶ができず、この紙面をもってお知らせすることとなりましたことをお詫びいたします。今から約1年9ヶ月前、一昨年7月にこの比田へやってきました。当初は、地域のことが何一つ分からず、地区の名前と場所、皆さんの名前と顔を覚えることに精一杯でした。コロナ禍という状況も相まってなかなかイベントをできなかったため、例年に比べると皆さんとお会いする機会が少なく、歯痒い想いをしたこともありました。ですが、交流センターへ足を運んでは、「出雲から大変だね」「お父さんをよく知っているよ」など、皆さんが優しくお声をかけてくださり、そのおかげで少しずつ地域に馴染むことができたように思います。そういった皆さんのお声かけやお心遣いに何度も元気をいただいて、前向きに楽しく仕事をさせていただきました。期間としては決して長いものではありませんでしたが、比田の皆さんのあたたかい人柄、ゆったりとした自然に触れ、このような有難い環境に身を置いて仕事をするのができ、本当に光栄に感じています。とても居心地のよい、かけがえのない1年9か月となりました。皆さんにお会いできたことに心より感謝します。ありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしています。

